

令和7年度 障害者グループホーム・グラントホーム 地域連携推進会議

開催日時：令和8年2月18日14時～15時

開催場所：グラントホーム桜木町（熊谷市桜木町一丁目81-2）

推進委員：入居者 M 様、桜木町自治会長 N 様、熊谷市障害福祉課 N 様、訪問看護師 I 様、相談支援専門員 S 様、市議会議員 K 様

次第

1. 開会あいさつ（営業・支援部長）

参加への感謝と、運営に対するご意見・ご助言のお願いを述べました。

2. 自己紹介

3. 報告事項

（1）障がい者グループホームの役割について（サービス管理責任者）

障がい等により単身での生活が困難な方が、職員によるさまざまな支援やサービスを活用しながら地域で生活するためのサービスの一つであることを説明しました。また、身体・精神・知的の障害種別について説明しました。

（2）グループホーム運営状況（営業・支援部長、管理者）

ア 入居状況（令和8年2月13日現在）

熊谷市内10棟、行田市内2棟、入居者数54名／定員56名。

イ 障害区分

平均区分 3.36

身体4名、知的18名、精神（発達）32名

ウ 近隣からのご意見や交流

この1年においては、特段のご意見はいただいておりません。

エ 子どもたちの応援（熊谷卓球フェスティバル）

熊谷のホームでは、子どもたちの応援としてプロ卓球選手を招いた交流会を実施しています。

（3）施設やサービスの透明性・質の確保（営業・支援部長、管理者）

ア 当ホームの特徴

食事は原則手作りで温かいものを提供しています。職員が1対1で同席し、生活や就労に関する悩みを丁寧に伺っています。また、入浴は原則としてお一人ごとにお湯を入れ替えています。

イ 利用者の日常生活の様子

日中は一般就労または福祉的就労に通い、規則正しい生活を送っています。休日はホームでゆっくり過ごされる方もいます。デイサービスに通所される方もいます。

ウ BCP（業務継続計画）の策定状況

法定の「非常災害時」および「感染症まん延時」の2種類の業務継続計画を策定しています。研修や訓練を通じて、万が一の際にも業務および支援を継続できるよう備えています。

エ 各種委員会・研修会・訓練について

年17回、法定の委員会・研修・訓練を、年間スケジュールに基づき実施しています。

名称	年間必要数	予定月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①虐待防止委員会	1	5		○										
②身体拘束適正化検討委員会	1	5		○										
③感染症の予防及びまん延防止委員会	4	4・9・12・2	○					×		○	○		○	
④地域連携推進会議	1	10							×				○	
⑤業務改善委員会	任意	毎月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
⑥虐待防止研修	1+採用時	4~5		○										
⑦身体拘束適正化研修	1+採用時	4~5		○										
⑧感染症の予防及びまん延防止研修	2+採用時	6・11			○					○				
⑨業務継続計画研修	2+採用時	6・11			○					○				
⑩感染症の予防及びまん延防止訓練	2	7・12				○					○			
⑪業務継続計画訓練	2	7・12				○					○			

(4) 利用者の権利擁護（営業・支援部長、管理者）

ア 虐待、事故、ヒヤリハットの報告

事故：7件。（転倒、行方不明となり捜索願を提出したケース等）

ヒヤリハット：11件。

イ 後見人等の状況

預り金サービス利用者9名（うち通帳預かり9名）、補佐人・後見人利用者2名。

4. 地域連携推進員様による各ホームへの訪問

厚生労働省の「会議の手引き」に基づき、地域連携推進員様による各ホームへの訪問が求められています。要項およびチェックポイントをご参照いただき、訪問をお願いしました。

⇒了承をいただき、分担して推進委員の皆様にご訪問していただくこととなりました。

5. ご意見

◆食事について

看護師I様より、個別の食事が感染予防につながっているのではないかと、ご評価をいただきました。

◆昨年度との改善点について

自治会長N様より、ホーム運営における昨年度との改善点について、ご質問をいただきました。

>服薬管理の徹底に取り組んだことを説明しました。当社は複数のホームを運営しており、同一職員が同一ホームに固定的に勤務し続けることで、入居者様への過度な慣れや依存が生じる可能性があるため、複数ホームに勤務できる体制としています。その分、同じホームに勤務をし続ける事よりも情報の把握が難しくなることは否めませんので、LINEや管理者による指導を通じた情報共有の強化に今年度重点的

に取り組んだことを説明しました。

◆桜木町ホームの特徴について

桜木町ホームが他のホームと異なる点や特徴について、ご質問をいただきました。

>桜木町ホームの特徴は、各居室が比較的広いことです。なかでも1階にはベッドが必須、日常生活動作に介助が必要な方に対応するための居室としております。

◆卓球フェスティバルについて

入居者の参加について、ご質問をいただきました。

>このイベントを非常に楽しみにして、ラケットを揃えた方もおります。一方、人混みが苦手な方で体調不良を起こす方もおります。入居者の特性を踏まえ、今後も参加の可否を個別に検討していきます。

6. 閉会あいさつ（営業・支援部長）

ご参加および貴重なご意見への感謝を述べるとともに、今後も気軽にホームへお越しいただきたい旨をお伝えしました。